



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 株式会社アドウェイズ
 コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員(管理担当) (氏名) 田中 庸一
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

上場取引所 東

TEL 03-5339-7122

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,825	10.9	563	14.5	575	16.1	347	30.6
23年3月期第2四半期	7,956	36.0	492	81.0	495	82.4	265	△3.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 333百万円 (27.5%) 23年3月期第2四半期 261百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4,620.06	4,528.88
23年3月期第2四半期	3,330.53	3,267.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,639	3,859	58.1
23年3月期	6,280	3,526	56.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,859百万円 23年3月期 3,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,650	11.0	1,120	30.2	1,150	33.0	690	47.0	8,993.13

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	79,860 株	23年3月期	79,855 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	4,689 株	23年3月期	4,689 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	75,170 株	23年3月期2Q	79,855 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の日本経済を取り巻く環境は、東日本大震災の影響による経済活動の落ち込みから回復の兆しを見せる一方で、欧州の金融不安を背景に長期化する円高などの影響から、依然として不透明な状況が続きました。

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、ソーシャルメディア市場の拡大やスマートフォン、タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化などを受け、今後も順調な拡大が予測されております。また、矢野経済研究所によると当社の主力事業であるアフィリエイト広告市場規模は平成23年度に1,052億5,000万円(前年比4.3%増)に上るものと予測されております。

こうした経営環境の下、当社グループはアフィリエイト広告事業、急成長が見込まれるスマートフォンアプリ市場及び海外事業に投資を行い、シェアの拡大及び収益力の向上に注力してまいりました。

当四半期におきましては、ゲームアプリ『カイクツクロニクル』のユーザー獲得、『煙に巻いたらさようなら。』等の新規ゲームアプリのリリース及びスマートフォンアプリ向け広告『AppDriver』のネットワーク拡大に取り組むとともに、既存サービスのスマートフォン対応を積極的に行いました。なお、平成23年7月にはソーシャルアプリやスマートフォンアプリの開発・運営を行う株式会社ラビオンソーシャルの転換社債型新株予約権付社債を転換したことにより株式を取得し連結子会社化いたしました。

海外においては、中国においてアフィリエイト広告事業及びその周辺事業の拡大に向けた事業展開を実施するとともに、ベトナム、フィリピンに続きインドネシアにおいて営業を開始いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同期より869,436千円増加し、8,825,747千円(前年同期比10.9%増)となりました。

売上総利益は、『カイクツクロニクル』における課金収入の増加に伴い収益率が上昇したことにより、前年同期より337,481千円増加し、1,725,593千円(前年同期比24.3%増)となりました。

営業利益は、前年同期より71,305千円増加し、563,346千円(前年同期比14.5%増)、経常利益は、前年同期より79,590千円増加し、575,261千円(前年同期比16.1%増)となりました。

四半期純利益は、前年同期より81,332千円増加し、347,292千円(前年同期比30.6%増)となりました。

①インターネット広告事業

	平成23年3月期 第2四半期累計期間	平成24年3月期 第2四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	1,912,887	1,899,819	△13,068	△0.7
(外部売上高)(千円)	1,908,972	1,863,462	△45,510	△2.4
(セグメント間売上高)(千円)	3,914	36,356	32,441	828.7
セグメント利益(千円)	247,866	180,203	△67,663	△27.3
広告主(クライアント)数	1,203	1,411	208	17.3
提携Webサイト(メディア)数	202,339	209,534	7,195	3.6

インターネット広告事業は、インターネット上で事業展開を行う企業に対し、インターネット(PC)を介したアフィリエイト広告「JANet」を中心に、費用対効果の高い広告を提供しております。

当第2四半期連結累計期間におけるインターネット広告事業は、新規広告主の獲得や優良媒体との提携、関係強化及び今後の取引高拡大に向け「JANet」のスマートフォン対応を積極的に進めてまいりました。しかしながら、東日本大震災を背景とした広告主の出稿自粛が影響したことにより前年同期比で売上高、セグメント利益が減少いたしました。なお、当四半期末時点では、広告主の出稿意欲は回復傾向にあり、直近の取引高は前年同期並に回復しております。

この結果、インターネット広告事業の売上高は1,863,462千円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益は180,203千円(前年同期比27.3%減)となりました。一方で、「JANet」の広告主(クライアント)数、提携Webサイト(メディア)数はともに増加いたしました。

②モバイル広告事業

	平成23年3月期 第2四半期累計期間	平成24年3月期 第2四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	5,304,041	5,796,815	492,774	9.3
(外部売上高)(千円)	5,268,156	5,638,172	370,015	7.0
(セグメント間売上高)(千円)	35,884	158,642	122,758	342.1
セグメント利益(千円)	553,875	626,045	72,169	13.0
広告主(クライアント)数	2,737	3,108	371	13.6
提携Webサイト(メディア)数	106,552	132,598	26,046	24.4

モバイル広告事業は、携帯電話で事業展開を行う企業に対し、携帯電話を介したアフィリエイト広告「Smart-C」を中心に、スマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」など、モバイル広告を総合的に提供しております。

当第2四半期連結累計期間におけるモバイル広告事業は、前連結会計年度末に事業譲受を行ったモバイルアフィリエイト広告サービス「VERSION-M」の損益が含まれたことや、「AppDriver」を中心に市場の成長が著しいスマートフォン向け広告の取り扱い高が増加したこと等により、前年同期比で売上高、セグメント利益が増加いたしました。

この結果、モバイル広告事業の売上高は5,638,172千円(前年同期比7.0%増)、セグメント利益は626,045千円(前年同期比13.0%増)となりました。また、「Smart-C」の広告主(クライアント)数、提携Webサイト(メディア)数はともに増加いたしました。

③コンテンツプロバイダ事業

	平成23年3月期 第2四半期累計期間	平成24年3月期 第2四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	440,815	563,984	123,169	27.9
(外部売上高)(千円)	439,529	547,172	107,642	24.5
(セグメント間売上高)(千円)	1,285	16,811	15,526	※-
セグメント利益(千円)	78,141	85,102	6,961	8.9

コンテンツプロバイダ事業は、連結子会社であるアドウェイズ・エンタテインメント及び平成23年7月に連結子会社化した株式会社ラビオンソーシャルにおいて、インターネット・モバイルのコンテンツサービス、ソーシャルメディア及びスマートフォンアプリの企画、開発、運営等を行っております。

当第2四半期連結累計期間におけるコンテンツプロバイダ事業は、アドウェイズ・エンタテインメントにおいては新規サイトを立ち上げるなど積極的にユーザーの獲得を進めました。また、連結子会社化した株式会社ラビオンソーシャルが運営するスマートフォン向けゲームアプリ『小悪魔キャバ嬢らいふ』のヒット等により前年同期比で売上高、セグメント利益が増加いたしました。

この結果、コンテンツプロバイダ事業の売上高は547,172千円(前年同期比24.5%増)、セグメント利益は85,102千円(前年同期比8.9%増)となりました。

※セグメント間売上高の対前年同期増減率は、増加率が1,000%以上のため表記しておりません。

④海外事業

	平成23年3月期 第2四半期累計期間	平成24年3月期 第2四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	302,371	790,817	488,445	161.5
(外部売上高)(千円)	302,371	760,758	458,387	151.6
(セグメント間売上高)(千円)	-	30,058	30,058	-
セグメント利益(千円)	17,785	139,632	121,847	685.0

海外事業は、主に中国において、インターネット上で事業展開を行う企業に対し、アフィリエイト広告「CHANet」を中心とした総合的なインターネット広告の提供及び『カイクツクロニクル』を中心としたゲームアプリの開発・運営を行っております。

当第2四半期連結累計期間における海外事業は、中国に進出する日系企業、外資企業、及び現地企業への営業を強化したことにより、アフィリエイト広告「CHANet」を軸として純広告やサイト制作等の取引高が増加いたしました。また、スマートフォン向けゲームアプリ『カイクツクロニクル』の課金収入が増加したことにより、前年同期比で売上高、セグメント利益が大きく増加いたしました。

この結果、海外事業の売上高は760,758千円(前年同期比151.6%増)、セグメント利益は139,632千円(前年同期比685.0%増)となりました。

⑤その他

	平成23年3月期 第2四半期累計期間	平成24年3月期 第2四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	76,784	74,764	△2,019	△2.6
(外部売上高)(千円)	37,280	16,181	△21,099	△56.6
(セグメント間売上高)(千円)	39,503	58,582	19,079	48.3
セグメント損失(△)(千円)	△61,157	△88,535	△27,378	△44.8

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第2四半期連結累計期間におけるその他は、新規事業関連の経費が増加したため、売上高は16,181千円(前年同期比56.6%減)、セグメント損失は88,535千円(前年同期より27,378千円の増加)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産においては、流動資産が前連結会計年度末より300,808千円増加し5,618,966千円となりました。主な増加要因は、売掛金が360,993千円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末より58,514千円増加し1,020,578千円となりました。主な増加要因は、その他に含まれる出資金が90,527千円増加したことによるものであります。主な減少要因は、その他に含まれる投資有価証券が28,193千円減少したことによるものであります。

負債においては、流動負債は前連結会計年度末より25,248千円増加し2,739,997千円となりました。主な増加要因は、買掛金が214,351千円増加したことによるものであります。主な減少要因は、未払法人税等が65,151千円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末より694千円増加し40,079千円となりました。

純資産においては、前連結会計年度末より333,380千円増加し3,859,467千円となりました。主な増加要因は、四半期純利益347,292千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前年同期末に対して1,598千円減少し、2,758,537千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、300,939千円の収入(前年同期比74,756千円の減少)となりました。主な支出要因は売上債権の増加額337,578千円であり、主な収入要因は税金等調整前四半期純利益553,977千円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、370,808千円の支出(前年同期比203,164千円の増加)となりました。主な支出要因は事業譲受による支出210,000千円及び子会社株式の一部取得による支出75,835千円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、103千円の収入(前年同期は財務活動に関する取引無し)となりました。これは主に新株予約権の行使に伴う株式発行による収入によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、ソーシャルメディア市場の拡大やスマートフォン、タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化などを受け、今後も順調な拡大が予測されております。

当社グループは、アフィリエイト広告事業、急成長が見込まれるスマートフォンアプリ市場及び海外事業に投資を行い、シェアの拡大及び収益力の向上に取り組んでまいります。

国内においては、アフィリエイト広告事業及びその周辺事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携Webサイト(メディア)数の増加を図るとともに、差別化を図ります。また、スマートフォン版ゲームアプリのラインナップの拡充を進めるとともに、スマートフォンアプリ向け広告『AppDriver』のネットワーク拡大に取り組んでまいります。

海外においては、中国におけるアフィリエイト広告市場に関しても今後の拡大を予想し、一層の営業体制の強化を図り、シェアの拡大及び収益力の向上に取り組んでまいります。並びに、今後市場の拡大が予想される新興国マーケットへの参入を加速し、世界マーケットにおける営業基盤の拡大に取り組んでまいります。

また、PC版アフィリエイトプログラム「JANet」、モバイル版アフィリエイトプログラム「Smart-C」ともに、アフィリエイト広告業界全体の健全性向上に努め、より一層信頼性の高いアフィリエイト広告配信ネットワークを目指してまいります。

以上により、平成24年3月期の業績見通しにつきましては、売上高17,650百万円(前期比11.0%増)、営業利益1,120百万円(前期比30.2%増)、経常利益1,150百万円(前期比33.0%増)、当期純利益690百万円(前期比47.0%増)を見込んでおります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,843,477	2,758,537
売掛金	2,302,521	2,663,514
たな卸資産	4,055	2,996
繰延税金資産	28,830	25,512
その他	170,259	205,913
貸倒引当金	△30,986	△37,507
流動資産合計	5,318,157	5,618,966
固定資産		
有形固定資産	90,874	99,123
無形固定資産		
のれん	239,534	239,829
その他	103,442	85,595
無形固定資産合計	342,977	325,424
投資その他の資産		
繰延税金資産	120,398	118,491
その他	415,140	480,283
貸倒引当金	△7,327	△2,744
投資その他の資産合計	528,211	596,030
固定資産合計	962,063	1,020,578
資産合計	6,280,221	6,639,545
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,908,323	2,122,675
未払法人税等	240,591	175,439
ポイント引当金	6,154	4,365
その他	559,678	437,517
流動負債合計	2,714,748	2,739,997
固定負債		
その他	39,385	40,079
固定負債合計	39,385	40,079
負債合計	2,754,134	2,780,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,477,633	1,477,708
資本剰余金	1,467,633	1,467,708
利益剰余金	996,489	1,343,781
自己株式	△399,974	△399,974
株主資本合計	3,541,781	3,889,223
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△15,693	△29,755
その他の包括利益累計額合計	△15,693	△29,755
純資産合計	3,526,087	3,859,467
負債純資産合計	6,280,221	6,639,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,956,311	8,825,747
売上原価	6,568,199	7,100,153
売上総利益	1,388,112	1,725,593
販売費及び一般管理費	896,071	1,162,247
営業利益	492,040	563,346
営業外収益		
外国税還付金	—	8,790
その他	3,837	3,396
営業外収益合計	3,837	12,187
営業外費用		
支払利息	86	—
創立費	—	204
その他	120	67
営業外費用合計	206	272
経常利益	495,670	575,261
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7,879	—
償却債権取立益	3	—
特別利益合計	7,882	—
特別損失		
固定資産売却損	130	—
固定資産除却損	—	297
投資有価証券売却損	—	9,773
投資有価証券評価損	—	643
段階取得に係る差損	—	10,570
減損損失	11,227	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,462	—
特別損失合計	29,820	21,284
税金等調整前四半期純利益	473,733	553,977
法人税、住民税及び事業税	187,286	201,253
法人税等調整額	20,487	5,431
法人税等合計	207,773	206,684
少数株主損益調整前四半期純利益	265,959	347,292
四半期純利益	265,959	347,292

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	265,959	347,292
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,566	△14,061
その他の包括利益合計	△4,566	△14,061
四半期包括利益	261,392	333,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261,392	333,230

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	473,733	553,977
減価償却費	42,061	41,084
減損損失	11,227	—
のれん償却額	21,285	35,113
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,500	1,791
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△4,601	△1,789
受取利息及び受取配当金	△1,552	△1,091
支払利息	86	—
固定資産売却損益(△は益)	130	—
固定資産除却損	—	297
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	10,416
段階取得に係る差損益(△は益)	—	10,570
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,462	—
売上債権の増減額(△は増加)	△60,729	△337,578
仕入債務の増減額(△は減少)	84,256	206,340
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	3,231	45,017
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,377	12,130
その他	△77,178	△19,475
小計	478,534	556,805
利息及び配当金の受取額	1,381	1,555
利息の支払額	△86	—
法人税等の支払額	△104,132	△257,421
営業活動によるキャッシュ・フロー	375,696	300,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,224	△28,526
無形固定資産の取得による支出	△7,947	△3,780
事業譲受による支出	—	△210,000
投資有価証券の取得による支出	△73,560	△67,701
投資有価証券の売却による収入	—	1,827
子会社株式等の取得による支出	—	△75,835
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	8,480
貸付けによる支出	△43,370	△695
貸付金の回収による収入	61,538	10,289
その他	△88,079	△4,865
投資活動によるキャッシュ・フロー	△167,643	△370,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
その他	—	103
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	103
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,188	△15,175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	204,864	△84,940
現金及び現金同等物の期首残高	2,555,270	2,843,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,760,135	2,758,537

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インターネット 広告事業	モバイル 広告事業	コンテンツ プロバイダ 事業	海外事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	1,908,972	5,268,156	439,529	302,371	7,919,030	37,280	7,956,311	—	7,956,311
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,914	35,884	1,285	—	41,084	39,503	80,588	△80,588	—
計	1,912,887	5,304,041	440,815	302,371	7,960,115	76,784	8,036,899	△80,588	7,956,311
セグメント利益又は損失(△)	247,866	553,875	78,141	17,785	897,668	△61,157	836,511	△344,471	492,040

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△344,471千円はセグメント間取引消去△80,588千円、のれんの償却額△14,665千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△249,217千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「コンテンツプロバイダ事業」セグメントにおいて、保有するソフトウェアのうち、収益性の低下が見込まれるものについて減損損失11,227千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インターネット 広告事業	モバイル 広告事業	コンテンツ プロバイダ 事業	海外事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	1,863,462	5,638,172	547,172	760,758	8,809,565	16,181	8,825,747	—	8,825,747
セグメント間の内部売上高又は振替高	36,356	158,642	16,811	30,058	241,869	58,582	300,452	△300,452	—
計	1,899,819	5,796,815	563,984	790,817	9,051,435	74,764	9,126,199	△300,452	8,825,747
セグメント利益又は損失(△)	180,203	626,045	85,102	139,632	1,030,984	△88,535	942,448	△379,102	563,346

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△379,102千円には、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△369,539千円を含んでおります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

当社は、平成23年10月20日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことについて決議しました。この結果、当社は、伊藤忠商事株式会社の持分法適用関連会社となる予定であります。なお、自己株式の処分に関する取締役会の決議の内容は、以下のとおりであります。

(1) 処分期日	平成23年11月30日
(2) 処分株式数	当社普通株式4,689株
(3) 処分価額	1株につき126,900円
(4) 処分価額の総額	595,034,100円
(5) 処分方法	第三者割当による処分
(6) 処分予定先	伊藤忠商事株式会社 4,689株
(7) 資金使途	主に当社の海外事業における運転資金及び広告システムを支えるサーバーなどのシステムインフラへの設備投資に充当する予定であります。